

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国際音楽エンタテイメント専門学校	平成6年12月8日	齊藤 秀志	〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通7番町935番NSG-スクエア2F (電話) 025-225-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 国際総合学園	昭和32年10月10日	池田 弘	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東掘通1番町494-3 (電話) 025-210-8565			
目 的	ミュージシャン科の学科目的：優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、芸術分野に携わる人材としての専門技能及び實際生活に必要な能力を養成すると共に文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材を育成することを目的としている。当学科では、充実したスタジオ設備の中でプロによる指導を最大限重視して専門教育を施しつつ、専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出する					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 ・教養	文化・ 教養専門	ウインドオーケストラ科	2年(昼)	1798単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学省告示第三十号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	629単位時間 (又は単位)	197単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	972単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人の内数	6人	4人	6人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 各科目ごと4段階評価(A～D)	
長期休み	■夏 季：7月22日～8月18日 ■冬 季：12月17日～1月8日 ■学 年 末：3月20日～4月7日			卒業・進級条件	定められた単位時間を終了し、かつ全ての成績でC以上であること。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出			課外活動	■課外活動の種類 柳都ウインドアンサンブルでの活動 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 音楽業界 他 ■就職率^{※1} 40.0% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 44.3% ■その他（任意） （平成25年度卒業者に関する平成26年5月時点の情報）	主な資格・検定	ビジネス著作権検定 ビジネスマナー検定 PC（Excel・Word）検定
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 1.62% 平成25年4月1日在学者 183名（平成24年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 180名（平成25年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更・精神的疾患のため ■中退防止のための取組 教務部と保護者との情報共有・カウンセラーの活用		
ホームページ	URL: http://show-net.jp/musicbb.html		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

各企業との連携に基づいてアーティストや作曲家などを定期的にお招きし、特別講義を実現する。プロの音楽概念や歌唱技術を間近で体感し、個々にアドバイスをもらえる環境の中で人材育成を行う。また十分なスタジオ等の設備にあわせ、ライブハウスや各種会場でのパフォーマンス、またデビューに繋がるコンテストを開催することで、学修意欲に満ちた教育環境を実現する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年8月1日現在

名 前	所 属
井浦 正弘	新潟市芸術文化振興財団
井上 一郎	株式会社エヌドライブ
横山 道子	Michiko Vocal Studio
伊奈 るり子	北区フィルハーモニー管弦楽団
久岡 和也	日本ストリートダンス認定協議会
斉藤 秀志	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 良	国際音楽エンタテイメント専門学校
朝倉 隆司	国際音楽エンタテイメント専門学校
下坂 旬也	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 史歩	国際音楽エンタテイメント専門学校
杉本 千尋	国際音楽エンタテイメント専門学校
佐藤 和音	国際音楽エンタテイメント専門学校

(開催日時)

第1回 平成26年10月31日 14:00~15:00

第2回 平成26年11月20日 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ① 校内だけでなく、様々な現場でライブイベントを経験する。
- ② サマーレビューに出演し、野外ライブを経験する。
- ③ プロと密に関わりながら営業する企業担当者から、アドバイスを受ける。
- ④ 年2度開催するコンテスト審査員にプロデューサーを招き、全国デビューへとつなげてく。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
器楽専攻実技Ⅰ・Ⅱ	演奏、演技のパフォーマンスにおける基礎的知識、技術を習得する。イベントやパフォーマンスを各現場で経験する他、業界に向けて活動をPRすることも目的である。年2回のコンテストでは、プロから細かな指導を受けることで、プロアーティストを目指す意識の向上に繋げる。また、夏季コンテスト受賞者は東京オーディションへの参加権、冬季の優勝者はプロデュースの他、レコーディングやプロモーションビデオ作成などデビュー活動を積極的にバックアップしていく。	株式会社ゴールドデンピッグス 新潟市北区文化会館 万代シティ 商工連合会商店街振興組合 株式会社ジョイアミーア

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

担当教員において下記の分野における専門性の維持と向上を図る。

① ステージパフォーマンスにおける専門分野

② 就職における人材育成分野(コミュニケーション能力、リーダーシップ、コーチングなど)

また、上記①②を効果的に学生に伝達するため、教育力の向上を図る目的で定期的に下記にあげるような教務力向上研修を実践している。

I. 新任者を対象とした教育力研修およびフォローアップ研修

II. 模擬授業の実施または授業見学および意見交換

III. 定期的な授業アンケートの実施と検討会

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月8日現在

名 前	所 属
齊藤 秀志	国際音楽エンタテイメント専門学校
田中 良	国際音楽エンタテイメント専門学校
朝倉 隆司	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
下坂 旬也	国際音楽エンタテイメント専門学校 事務局
田中 史歩	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
杉本 千尋	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
佐藤 和音	国際音楽エンタテイメント専門学校 教務部
荻原 政之	フリーランス 音響
松本 和良	株式会社 柳都アーティストファーム
中川 裕稀	卒業生
砂塚 隼	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにて URL : <http://show-net.jp/information.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校案内パンフレット、保護者向けパンフレット、ホームページにて URL: <http://show-net.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ウインドオーケストラ科管楽器コース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			英会話	ネイティブな講師との会話を通して、英語を基本としたコミュニケーションを学ぶ。英単語や英文法の暗記ではなく、「会話」に特化した授業を行っていく	1通	22		○		
○			PC実習 (Word)	Word文書処理技能認定試験3級合格を目指すとともに、基本的なビジネス文書の作成や、様々な自己プレゼン資料等の作成に生かす	1通	18		○		
○			PC実習 (Excel)	Excel表計算処理技能認定試験3級合格を目指すとともに、基本的なビジネス資料の作成や、様々な自己プレゼン資料等の作成に生かす	1通	18		○		
○			ビジネスマナー	ビジネスマナー検定3級合格を目指すとともに、授業を通して、社会人としてのビジネスマナー、敬語、作法等を学ぶ	1前	7		○		
○			情報リテラシー	SNSやブログ等のWebコンテンツによる情報ツールのモラルや優位性を学習する	1前	9		○		
○			プレゼンテーション技法	PowerPointを使用したビジネスプレゼンテーションの実践的トレーニングを行う	2前	9			○	
○			オーディション・就職実務 I	社会において仕事をする考え方から、履歴書作成および面接トレーニング	1通	37		○		
○			オーディション・就職実務 II	過去の実績を基にした実践的面接トレーニング及び、企業研究	2前	24		○		
○			一般選択科目 I・II	音楽関係全般の選択授業	1通	28				○
○			一般選択科目 I・II	音楽関係全般の選択授業	2通	28				○
○			ビジネス著作権	音楽著作権を主とした知識習得およびビジネス著作権初級合格	1通	22		○		
○			ソルフェージュ I	ピアノを使用した音感・音程トレーニング	1通	22			○	

○		ソルフェージュⅡ	譜面の読み書き、調音、初見練習	2通	22				○
○		器楽アンサンブル実習Ⅰ	吹奏楽曲の合奏練習を通し、専攻楽器の楽曲内での役割等を学ぶ	1通	22				○
○		器楽アンサンブル実習Ⅱ	吹奏楽曲の合奏練習を通し、専攻楽器の楽曲内での役割等を学ぶ	2通	22				○
○		作曲実習Ⅰ	デジタルレコーディングソフトを使用した楽曲制作法の基礎知識を学ぶ	1通	10			○	
○		作曲実習Ⅱ	デジタルレコーディングソフトを使用した楽曲制作法の応用知識を学ぶ	2通	10			○	
○		吹奏楽指導演習Ⅰ	吹奏楽スコアを使用した指導法、指揮法を学ぶ	1通	12				○
○		吹奏楽指導演習Ⅱ	吹奏楽スコアを使用した指導法、指揮法を学ぶ	2通	12				○
○		器楽専攻実技Ⅰ	校内の他、各会場でライブパフォーマンスを学ぶ	1通	280				○
○		器楽専攻実技Ⅱ	校内の他、各会場でライブパフォーマンスを学ぶ	2通	280				○
○		音楽理論Ⅰ	人に聞かせるための音楽を自在に創るための理論を基礎から学ぶ	1通	80			○	
○		音楽理論Ⅱ	アドリブ演奏に応用できる、和音やスケールを学ぶ	2通	80			○	
○		必修副科ピアノⅠ	ピアノの基礎を学び、管楽器に対する伴奏等を学ぶ	1通	60				○
○		必修副科ピアノⅡ	ピアノの応用を学び、管楽器に対する伴奏法等を習得する	2通	60				○
○		管楽器基礎講座Ⅰ	様々な吹奏楽曲を演奏し、演奏技術の向上に努める	1通	126				○
○		管楽器基礎講座Ⅱ	様々な吹奏楽曲を演奏し、演奏技術の向上に努める	2通	126				○

○		音楽史 I	西洋の音楽史を通し音楽の歴史を学ぶ	1 通	80		○		
○		音楽史 II	日本の音楽史を通し音楽の歴史を学ぶ	2 通	80		○		
○		作曲・編曲法 I	DTMを使用した作曲基礎	1 通	66		○		
○		作曲・編曲法 II	DTMを使用した作曲の応用	2 通	66		○		
○		卒業制作	2年間の集大成として、管楽器・打楽器のみでのステージを作り上げる	2 通	60				○
合計				31 科目	1798	単位時間(単位)